

Concierge Times

コンシェルジュタイムズ

はじめよう！ ふるさと納税

ふるさと納税は、特定の自治体に寄附をすることで返礼品がもらえ、さらに税金の控除が受けられるおトクな制度です。今回は、ふるさと納税の基本的なやり方を、初心者向けにわかりやすく解説します。

ふるさと納税の概要

ふるさと納税は、自分が応援したい自治体に寄附をすることで、税金の控除を受けられる制度です。ふるさと納税を利用することで、寄附先の自治体から特産品やサービスを返礼品として受け取ることができます。そして、寄附金額のうち原則として2,000円を超える部分について、所得税や住民税の控除を受けることができます。

簡単に言えば、実質2,000円の自己負担で、さまざまな返礼品を受け取ることができる制度ということになります。

ふるさと納税のやり方

ふるさと納税の基本的なやり方は、次の通りです。

1. 自分の控除限度額（寄付可能額）を調べる

ふるさと納税を効率的に行うために、まずは自分の控除限度額（寄付可能額）を確認するこ

とから始めましょう。この額は、家族構成や配偶者の有無、年収等によって変わります。

自分で計算するのは大変ですので、後述するふるさと納税サイトで用意されているシミュレーションを活用するとよいでしょう。自分の控除限度額を簡単に計算することができます。

2. ふるさと納税サイトで寄附を行う

ふるさと納税は、さまざまなふるさと納税サイト（「楽天ふるさと納税」や「さとふる」など）があります。これらのサイトから、寄附先の自治体や返礼品を選びます。

ネットショッピングと同じような感覚で、返礼品や自治体のプロジェクトなどを選び、寄附の申し込みまで行うことができます。

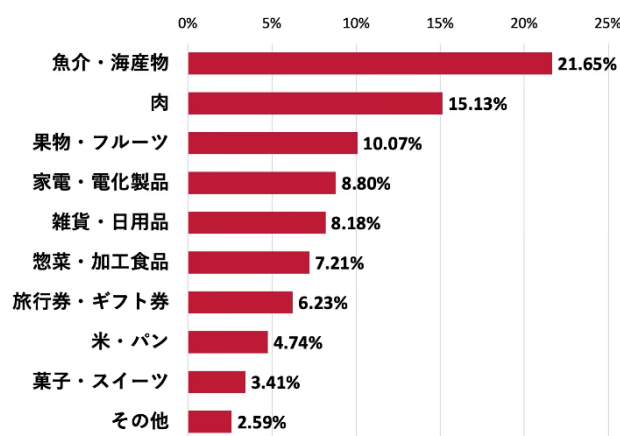


図 人気返礼品ジャンル(2023年)^{※1}



コンシェルジュタイムズとは

みすずコーポレーションの従業員が使える新たな福利厚生制度「コンシェルジュサービス」の運営会社（フューチャー・ラボ）が不定期に発行するニュースレターです。福利厚生の一環として、法改正や時事ニュース、おトクな税制優遇制度のご紹介など、みなさまの暮らしに役立つ情報を提供いたします。

こんな情報が知りたい、などのご要望があれば、お気軽にご連絡ください。

福利厚生制度に関する詳細は、下記QRコードからご覧ください。



返礼品は、地域の特産品や宿泊券、体験型のサービスなど多岐にわたります。寄附を行うことで、後日、自治体から寄附のお礼として返礼品が送られてきます。

3. 後に届く書類を返送する

ふるさと納税を活用して税金を控除するためには、確定申告を行うか、ワンストップ特例制度の申請が必要となります。一定の条件はありますが、基本的にはワンストップ特例制度の利用をおすすめします。これは、控除に必要な申告の手続きの一部を、寄附先の自治体が代行してくれる制度です。申請書を記載して、寄附先に書類を返送するだけで済むので、初心者でも簡単に申請が行えます。

まとめ

ふるさと納税は、地域貢献と税金の控除を同時に実現できる魅力的な制度です。初心者の方でも、ふるさと納税サイトを利用すれば、簡単に始めることができますので、気になっていた方は挑戦してみてください。

福利厚生制度「コンシェルジュサービス」では、ふるさと納税に関する情報提供や、その他のおトクな制度のご紹介なども可能です。

専任コンサルタントが状況に応じてご案内いたしますので、より詳しいふるさと納税の情報提供や、その他の制度の紹介を希望されるようでしたら、お気軽にご相談ください。

アニバーサリーキャンペーン実施中です！
詳しくは右上のQRコードから

Anniversary Campaign

デジタルギフトがもらえる！

1,000円

応募者全員プレゼント

応募期間 2024.10.18～11.30

福利厚生制度導入1周年

おかげさまで、「コンシェルジュサービス」は導入1周年を迎えました。たくさんのご相談をいただいた中で、特に多く寄せられた相談ジャンルを紹介します。

皆さまの

人気相談
ランキング

2024年編

1 NISA (NISA・企業型年金など)

2 扶養・税制 (年収の壁、税制の仕組みなど)

3 家計の見直し (支出項目・金額の確認など)

※1 「ふるさと納税ガイド」ウェブサイト「ふるさと納税の市場規模、利用率、人気返礼品など最新データまとめ (https://furu-sato.com/magazine/9440/)」より